

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)		-	-
		一般レストラン（経営者）	・当店は5%還元事業対象店になっており、また、地元の祭りがあるので、増加を見込みたい。
		観光型旅館（経営者）	・キャッシュレスポイントなどの施策があるためか、9月よりも10～11月の予約が堅調である。
		ゴルフ場（経営者）	・秋のゴルフシーズンを迎え、天候も安定している。現状の予約は順調に伸びている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・季節の変わり目がやってくる。これから冬にかけては、葬儀の依頼も増える。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・駆け込み需要分の消費は冷え込むと思われるが、カード購入客がどのような動きをするのが不透明である。また、キャッシュレスの申請が間に合わず、10月1日から活用できない現状もある。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費税率が上がってもポイント還元関係で、余り落ち込みはないのではないか。
		スーパー（経営者）	・キャッシュレス決済への対応で、今まではクレジットのみの決済が、電子マネーでもできるようになった途端に、電子マネー決済が増えている。ただし、10月1日からの消費者還元5%については、一部の電子マネーで、まだ審査待ちである。今月末から、車で20分の病院の売店に弁当、パン等を納品予定で、1日1万円前後の売上を予定している。配達は近所の社会福祉法人に頼み、人件費が1割、もうけ1割の計算である。
		スーパー（店長）	・消費税増税直後の買い控えはあるだろうが、その後はまた、消費は拡大してくるだろう。軽減税率にも慣れてくるのではないかと。
		コンビニ（店長）	・当店の場合、駆け込み需要が余りないので、2～3か月先も、さほど今とは変わってこない。
		衣料品専門店（経営者）	・昔とは違い、年末年始の需要が見込めない。
		スナック（経営者）	・年末になるまでは、団場で動くケースがなかなかないので、この先2か月くらいは、厳しい状況が続く。
		通信会社（社員）	・消費税増税の影響はない業種のため、今後数か月は現在と同じような動きで推移する。
		ゴルフ場（経営者）	・消費税増税の影響も少なく、ゴルフ場の予約は好調である。
		設計事務所（経営者）	・下請に外注する物件も多く、間に合っていない。
		商店街（代表者）	・例年、10月を過ぎると、販売がシーズン中の半分ほどに落ちてしまいが、毎年このことなので、特別変わらない。
		百貨店（営業担当）	・今月は消費税増税前の駆け込みで、売上がかなり増えている。この先2～3か月後は、前回の増税ほどではないが反動があると思うので、若干落ち込む。
		百貨店（売場担当）	・消費税増税後は2%といえども、一定期間買い控えが続く。連日メディアが騒ぎ過ぎることで、消費者側も買いためしたり、控えたりと本来の買い方を失くす。
		スーパー（経営者）	・駆け込みの反動減に、価格競争が加わる。一層、消費者の混乱が起きるのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・消費税率が上がり、やや動きが鈍るといえるか、販売量が落ちるような気がする。
		コンビニ（経営者）	・10月から消費税が10%になるため、悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・消費税増税の影響で、やや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・消費税増税後の停滞した経済が、どこまでか、どの程度で回復するのか。時間を要する。
	乗用車販売店（経営者）	・既に今月の売上にならない受注は減っている。消費税増税後の反動減が予想される。	
	自動車備品販売店（従業員）	・消費税増税前の反動が出て、来客数、売上が落ち込むと想定される。	
	高級レストラン（経営者）	・消費税増税による景気の悪化は、避けられそうにない。	
	一般レストラン（経営者）	・軽減税率、キャッシュレス還元などが展開されるが、増税という言葉の方が大きな影響を与えるような気がする。	
	観光型ホテル（支配人）	・来客数、売上共に、今年度は各月で前年割れしている。店内で飲食させる施設の多い当社は、消費税増税による影響も気になるところである。	

	都市型ホテル（スタッフ）	・9月の反動が10月に来る。消費税増税前の9月に利用した企業は10月の利用を控えるとみており、増税の影響が気になるところである。
	旅行代理店（副支店長）	・消費税増税に伴い、9月中の企業の受注などが集中しているが、9月の旅行は減少している。増税で先行きが不透明なことから、秋以降の動きが鈍い。年末年始を含んだ通年で長期の休みが多かったため、企業の出費がかさみ、個人消費も落ち込んでいる。
	タクシー運転手	・消費税が10%に上がった影響で、多少動きが悪くなる。
	通信会社（経営者）	・消費税増税の影響がどのくらい出てくるのかは不明だが、良い方向に行くとは思えない。
	住宅販売会社（経営者）	・別荘の販売価格が下落傾向にあり、高額な別荘が売れにくくなってきている。
×	商店街（代表者）	・2%増税とはいえ影響が大きくなるのではないかと。軽減税率、消費者還元等、混乱必至で、どうなるのか。
×	百貨店（店長）	・消費税増税の影響は読めないが、現状の悪さをみると、程度の差こそあれ確実に悪影響があるのではないかと。百貨店の主力顧客である高齢者には、政府のポイント還元策も分かりにくく、メリットを享受できない人も多いのかと思われる。また、我々中小企業側には、今回の軽減税率への対応設備投資も大きな負担である。
×	スーパー（経営者）	・消費税増税後は、更に悪化する。
×	スーパー（副店長）	・消費税増税前の駆け込み需要で、酒や日用品の売上が伸び、全体を押し上げている。買い込んだ分、しばらくは買い控えが起こるので、厳しくなる。
×	家電量販店（店長）	・消費税増税後の売上減が予測される。
×	スナック（経営者）	・来月からの消費税増税に伴い、今まで税金分を価格転嫁せずに頑張っていた幾つかのメニューを値上げすることにしたので、短期的にはかなり落ち込むとみている。
×	スナック（経営者）	・10月にならなければ分からないが、現状、暇なところに、消費税が上がるとどうなるか本当に心配である。仕入先からは待たなしで消費税を取られるが、客にはなかなか説明しにくいような気がする。
×	都市型ホテル（支配人）	・ラグビーワールドカップや開催まで1年を切った東京オリンピックに沸く東京周辺と違い、大型商業施設の撤退など、当地域には明るい話題がない。
×	都市型ホテル（スタッフ）	・5年前の増税時と同じ流れになるとみている。そこに軽減税率等が加わり、多くの人はどうなるかと動きを止めるのではないかと。既に、先の予約受注の動きが落ち込んできている。消費マインドは大きく低下し、フリー客が落ち込み、悪い方向へ進む。
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-
	金融業（経営企画担当）	・米中、日韓問題は依然として平行線だが、日米貿易交渉も落ち着いたことから、年内の経済状況は安定し、日経平均株価も上昇するとみている。
	食料品製造業（総務担当）	・業界では低価格化が進行しているが、肩を並べるのは難しい。前述した主力商材に傾注した政策を取ることで、バランスを取っていきたい。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・例年の受注に加えて新商材の受注もあるので、期待はするものの、動向は予測できない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先から、「動き出しはしているが、そこまで流通は良くない」との話を聞いている。
	建設業（経営者）	・受注工事があるので変わらないが、その後は分からない。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・消費税増税に伴う駆け込み需要は少なく、取引先等も増税後の買い控えを気にしている。外食業は複数税率となるが、税込同一価格で実質値下げになるなど、景気が上向くとは考えにくい。
	食料品製造業（製造担当）	・消費税増税や最低賃金の引上げなど、売上が落ち込むなかでの経費増加は会社にダメージを与える。増税による景気悪化が懸念される。
	食料品製造業（営業統括）	・消費税増税に加え、台風や秋の長雨による国産原料の収穫減の影響で、今後の商品への影響が考えられる。
	一般機械器具製造業（経営者）	・海外需要の回復がみられない。
電気機械器具製造業（営業担当）	・受注は、徐々に回復してきているが、目標には届いていない。	

	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	・10月は、ほとんどの会社が様子見状態で、どうなるか想像できない。消費者還元事業とセールがどのように結び付くか検討中というところが多い。
	金融業 (調査担当)	・消費税増税の影響は前回よりも小さいとみられるが、消費者のマインドは抑制される。また、製造業でも米中貿易摩擦の影響から下押しの動きが続くとみられる。
	× 出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・毎月のことだが資金繰りが大変である。
雇用 関連	-	-
(甲信越)	-	-
	人材派遣会社 (営業担当)	・消費税増税等の不安要素が多いため、購買意欲は湧かず景気回復は見込めない。
	職業安定所 (職員)	・業種による景況感の変動の情報は求人側から入っておらず、停滞感を残しつつ、現状維持が続く。
	求人情報誌製作会社 (経営者)	・10月から増税となり景気低迷が予測されるため、企業は数か月間は現体制の人員で対処し、今後の景気動向を見ながら求人募集を考えるのではないかと。
	職業安定所 (職員)	・緩やかな回復局面が停滞し始めているなかで、消費税増税が追い討ちをかけるのではないかと。
	民間職業紹介機関 (経営者)	・米中貿易摩擦や日韓問題等、将来不安が続き、慎重な企業行動が顕著で、厳しさが増してきている。
	×	-